

# うちのルール、どうしてる？

普段の生活では、テレビやゲーム、スマートフォン・携帯電話、インターネットなど、子どもが時間を忘れて熱中しがちになるものが身の回りにたくさんあります。

テレビやゲームなどは、のめり込みすぎてしまうと、夜更かしや学習時間の低下の原因になるなど、子どもの生活習慣の定着や心身の健全な成長に影響を落としかねません。

子どもたちが、規則正しい生活習慣を身に付け、社会のルールを守るためにも、テレビやゲームなどの利用に当たっては、家庭のルールを決めておくことが大切です。

一方で、ルールを決めたにもかかわらず、エピソードの事例のように、子どもがなかなか守れないという場合もあります。

ルールを守れない場合は、子どもにその理由を聞いてみることも一つです。

子どもに一方的に押し付けるのではなく、そもそもなぜルールが必要なのかを説明しながら、親子で一緒にルールを考えてみてはいかがでしょうか。

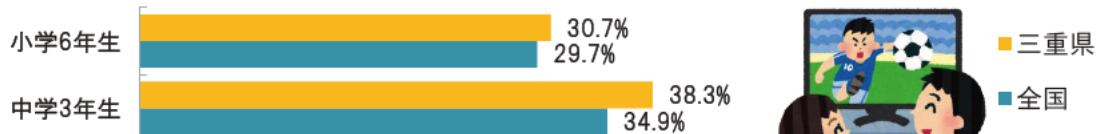
参考資料：明石要一編集「生活習慣の改善と子ども力の育成」教育開発研究所(平成 19 年)

## <長時間、テレビなどを視聴したりゲーム等をしている子どもの割合>

平日、テレビやビデオ・DVDを2時間以上視聴している子どもたちの割合



平日、テレビゲームを2時間以上している子どもたちの割合



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(平成 28 年度)



## <ゲームの利用にあたっての家庭のルールの例>

- 宿題と明日の用意をしてからゲームをします。
- 1日1時間以上使いません。
- 残酷なゲームはしません。
- 弟とゲームの取り合いをしません。
- 「ごはんだよ」と言われたら、すぐにゲームをやめます。

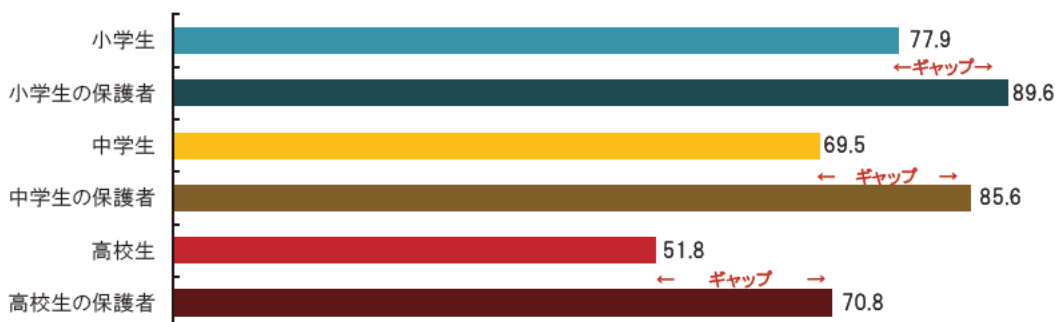
こうしたルールのほか、「守れなかったときにどうするか」のルールも一緒に盛り込んでおくと、より効果的です。



資料：明石要一編集「生活習慣の改善と子ども力の育成」教育開発研究所(平成 19 年)

## <家庭のルールについての保護者と子どもとの認識のギャップ>

インターネットの利用に関して家庭のルールを決めていると回答した割合



資料:内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」(平成 28 年度速報)

保護者はルールだと思っても、子どもはルールだと思っていないこともあります。ルールをしっかりと子どもに分かるように伝えましょう。



## コラム

### むごい教育

「むごい教育」と聞くと、どんな教育を思い浮かべるでしょうか。戦国時代、徳川家康がまだ幼くて、竹千代と名乗っていた頃の話です。

大名である今川義元は、竹千代を人質としてとりました。

そして、義元は、教育担当の家来に対し、こう指示しました。

「竹千代には、むごい教育をせよ」

これを聞いた家来は、竹千代に粗末な食事を与え、ほとんど休みなしで武術や学問を教え込む生活をさせました。

しばらくして、これを聞いた義元は大変怒り、このように言ったのです。

「ばかもの！それはむごい教育とは言わん！朝は好きなだけ寝させて、ぜいたくな食事を与え、武術や学問を無理にさせず、本人の望む通りに、何でも与えてやればよい。そうすれば、たいていの人間は駄目になるから。」

つまり、義元は、甘やかして、わがままな生活をさせることを「むごい教育」だと呼んでいたのです。

結果的に、徳川家康は「むごい教育」を受けることなく、大成して徳川幕府の基礎をつくりました。

皆さんの子育て、「むごい教育」になっていませんか。

